



県広報

# みやざき

Miyazaki Prefectural News Letter

# 4

2020 April  
令和2年4月  
偶数月発行

次回は6月に発行します。



**特集1** 令和2年度当初予算の概要

**特集2** 口蹄疫発生・終息から10年  
～忘れない、そして前へ～



「宮崎県広報」Facebook、Twitter発信中!

宮崎県HP  
はこちら→



Facebook  
はこちら→

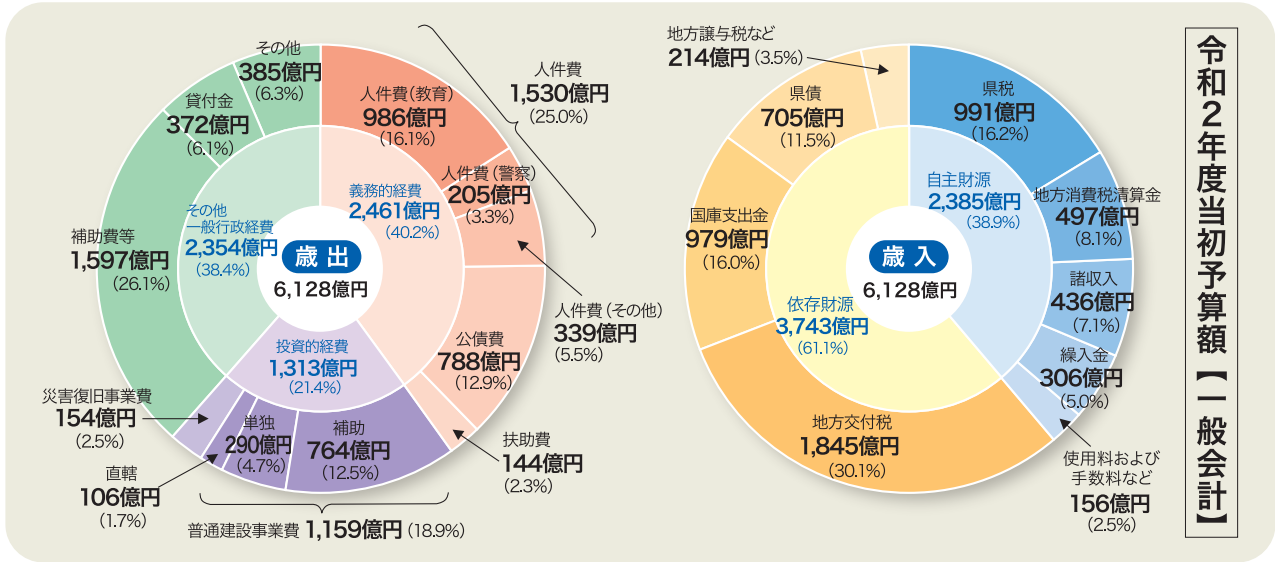


Twitter  
はこちら→



# 令和2年度当初予算の概要

令和2年度当初予算額（一般会計）



令和2年度当初予算について

は、人口減少下にあっても地域の活力を維持していくために、「持続可能な宮崎県の土台づくり」として、人口減少の抑制や人財育成などを行う「人口減少対策」や、重要インフラの機能維持を行う「防災・減災、国土強靱化対策」、国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭等の開催に合わせた誘客などを行う「文化・スポーツ大会の開催」、さまざまな拠点整備や交通・物流の基盤整備を行う「将来に向けた基盤づくり」に取り組みます。

また、予算編成においては、次の3つの重点施策に基づき事業を構築していますので、主な事業を紹介します。

- 1 地域や産業を支える人財の育成・確保
- 2 魅力的で持続可能な地域づくり
- 3 社会の変化に対応し、成長する産業づくり

## ① 地域や産業を支える人財の育成・確保

39事業 13億6806万円

大学を中心とした産業人財育成拠点構築事業

4000万円

産業人財育成・確保の推進拠点を産学官連携で構築し、人財育成や県内定着率向上などに取り組みます。

適正な伐採推進対策事業

250万円

ドローンを活用した伐採パトロールを支援するとともに、適正な伐採の普及・啓発に取り組みます。

農業人材育成総合拠点強化事業

3667万円

農業大学校において、農業の先進技術などを学ぶ場を「みやざきアグリビジネス創生塾」と位置づけ、学生だけでなく農業者なども対象に、ドローンなどのスマート農業の実践的学習などを実施します。



宮崎の未来の教育を担う人材育成推進事業

338万円

未来の教育を担う人材を育成・確保するため、大学生など教員養成期の資質能力の向上に取り組むとともに、教員採用に関する効果的な情報発信や受験しやすい環境づくりを行います。

子育て相談窓口ステップアップ事業

937万円

「子育てに優しいみやざき」を実現するため、「子育て世代包括支援センター」や「子ども家庭総合支援拠点」の全市町村への設置促進や、機能強化に取り組めます。



児童相談所法的対応体制強化事業

760万円

児童相談所に弁護士を配置し、迅速かつ的確な法的対応が行える体制を整備することで、児童相談所の機能の一層の強化を図ります。

②魅力的で持続可能な地域づくり

58事業 103億3602万円

国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭開催

8億6802万円

文化振興に携わるさまざまな団体が連携しながら、大会準備・運営を行います。(令和2年10月17日〜12月6日)

国民スポーツ大会事業

21億4328万円

令和8年度の本県開催に向けた準備を着実に進めるとともに、県有スポーツ施設の整備を計画的に進めます。

サーフランドみやざき推進事業

6631万円

昨年本県で開催された「ワールドサーフィンゲームス」などを契機に、本県サーフィンのブランド化を進めるため、環境整備や国際大会の開催を行います。



宮崎市木崎浜で開催された「2019 ISAワールドサーフィンゲームス」

持続可能な地域交通ネットワーク構築のための総合対策事業

7290万円

Maas(マース)など新モビリティサービスの導入、ICT(情報通信技術)を活用したコミュニティバスのオンデマンド化や運行情報の「見える化」への支援、路線バスの維持支援の強化などを行います。

中山間地域の持続可能な医療体制構築推進事業

1億5469万円

公立病院などでの医師確保のために、医師の勤務環境の整備や、ICTを活用した効率的な医療体制の構築を支援するほか、県立延岡病院へのドクターカー導入などを行います。



総合運動公園津波避難施設整備事業

41億6000万円

利用者の安全を確保するため、盛土高台などの新たな津波避難施設を整備します。

③社会の変化に対応し、成長する産業づくり

32事業 366億3743万円

長距離フェリー等を活用した物流対策

4事業 4873万円

フェリーを利用した本県発着貨物の確保や団体旅客向け補助、農産物の安定的な物流確保などに取り組みます。



県産品販路拡大・魅力発信強化事業

2229万円

新宿みやざき館KONNEを核とした販路拡大や物産展などへの出展、県外バイヤーとの商談会などを行います。



新宿みやざき館 KONNE

山間地域で稼げる集落モデル構築支援事業

1515万円

地域資源を活用した新たなビジネス創出のため、農村集落活性化モデル構想の策定および実証活動への支援を行います。

日向灘深海資源見える化プロジェクト

1250万円

未利用の高級魚の漁場として期待される深海において、環境DNA分析などの最新の技術による調査を行い、「深海漁場マップ」を作成します。

口蹄疫終息10年 更なる畜産の振興に向けた主な対策

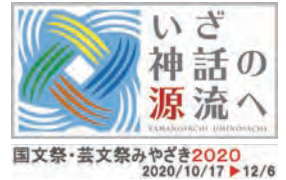
6事業 36億1805万円

防疫体制の強化や、畜舎などの施設整備、畜産農家への指導体制の強化、国内外への販売促進対策などに取組みます。



# 国文祭・芸文祭みやざき2020

## 「山の幸 海の幸 いざ神話の源流へ」



今年、本県で初めて開催される国内最大規模の文化の祭典、「国文祭・芸文祭みやざき2020」。10月17日(土)から12月6日(日)までの51日間、県内全域で、さまざまなジャンルの文化イベントが実施されます。大会の見どころなどについて、河野知事に詳しく聞きました。



この記念事業の集大成として開催するみやざき大会では、「記紀・神話・神楽」を柱の1つとして、県内外にその魅力を発信していきたくて考えています。

——今年はいよいよ「国文祭・芸文祭みやざき2020」が開催されます。みやざき大会の特徴について教えてください。



**河野知事** 本県は、古事記や日本書紀に描かれた日向神話の舞台です。神話の世界を舞で表現した神楽に代表されるような伝統文化や、ゆかりの史跡などが、県内各地に残されています。

県では、このような文化資源を、県民の皆さんが本県の宝として再認識し、自ら発信していただくことで、魅力ある地域づくりにつなげていくため、「記紀編さん1300年記念事業」に取り組んでいます。

——ほかに、どのような文化資源がありますか？

**河野知事** 「記紀・神話・神楽」以外にも、今年25回目の開催となる「国際音楽祭」、本県の誇る歌人「若山牧水」、また、自然豊かな山や海が育んだ魅力あふれる「食」など、多彩な文化資源に恵まれています。

大会では、これらの4つの文化資源を「フォーカスプログラム」と呼び、大会の柱として、準備を進めています。

——大会で知事が楽しみにしているプログラムを教えてください。

**河野知事** まずはフォーカスプログラムの1つである「国際音楽祭」です。25回の節目を迎え、充実した内容をお届けするとともに、大会期間中は音楽祭の秋版「オータムプログラム」を開催します。

また、音楽つながりで、芸文祭のプログラムの1つである「わたぼうし宮崎コンサート2020」も楽しみです。

このコンサートでは、大会の広報アンバサダーでもあるピアニストの野田あすかさん作詞・作曲の「ココロノイロ」が演奏されると聞いていて、心待ちにしています。



野田あすかさん(右)

それ以外にも、素晴らしいイベントが目白押しです。イベントの内容については随時発表しますので、ぜひ期待してお待ちください。

——県内全市町村で開催される分野別フェスティバル事業も楽しみですね。

**河野知事** 市町村ごとにそれぞれの地域の特色を生かした、魅力あふれるプログラムが実施されます。

演劇やコンサートをはじめ、ツアーやワークショップなどの体験型イベントもありますので、ぜひ、お近くの催しに足を運んで、地域の文化に触れていただけたらいいですね。



お茶会の様子

——最後に県民に向けて一言。

**河野知事** 大会本番まで、あと半年となりました。地域の文化を知ることが、私たちのルーツを探ることもであり、郷土愛にもつながるものと考えます。

多くの県民の皆さんに大会に参加していただき、地域の魅力を再認識するとともに、特に、次世代の文化活動を担う若い世代の方が躍動し、これからの宮崎をけん引していただければと思います。

この大会が、そのような契機となるよう、皆さんと一緒に盛り上げていきたいと思っています。

問 国文祭・芸文祭みやざき2020事務局 (国民文化祭・障害者芸術文化祭課)  
☎0985(26)7951 メール: kokubunsai-geibunsai@pref.miyazaki.lg.jp



国文祭・芸文祭  
公式HP  
情報発信中!

## 口蹄疫終息から10年



あれから10年。平成22年4月に本県で発生した口蹄疫は、297,808頭もの家畜の尊い命を奪い、畜産業のみならず、地域経済や県民生活に大きな影響を及ぼしました。

終息に至るまでの130日間にわたる戦いは、決して忘れることができません。懸命に防疫作業に従事された関係の皆さまのご尽力に、改めて敬意を表します。この教訓をしっかり未来へとつないでいくことが私たちの使命です。

終息から5カ月後、知事に就任した私は、「口蹄疫からの再生・復興」を県政の最重要課題と位置づけ、「忘れないそして前へ」を合い言葉に、全力で取り組んでまいりました。

この間、全国和牛能力共進会で史上初となる3大会連続での内閣総理大臣賞、輸出の増加、アカデミー賞授賞式パーティーにおける3年連続での宮崎牛の採用などは、関係の皆さまの並々ならぬ努力の賜であり、心より感謝申し上げます。

一方、国内ではCSF（豚熱）が拡大し、アジアではASF（アフリカ豚熱）がまん延しています。口蹄疫を経験した本県としては、全国のモデルとなる防疫を徹底してまいります。

見えないウイルスとの戦いでは、中国に端を発した新型コロナウイルス感染が世界に拡大。県内でも感染が確認され、学校休業やイベントの中止、自粛の広まりなど、社会・経済に甚大な影響が生じています。早期の終息および復興を目指し取り組んでまいります。

グローバル化の進展により、人も家畜も感染症のリスクが高まってきています。「One World, One Health」（人も家畜も生態系の一員、人と家畜の健康は一つ）という考え方のもと、国際的な協力体制を確立して課題解決に取り組んでいく必要があります。過去の経験を生かし、本県としてもしっかり貢献してまいります。



平成22年4月 口蹄疫発生時の埋却作業

## 新型コロナウイルス感染症にご注意ください

新型コロナウイルス感染症対策のためには、県民の皆さん一人一人の咳エチケットや手洗いなどの実施がとても重要です。感染症対策を徹底することでウイルスの感染を防ぎましょう。



### 感染予防のためのポイント

- こまめに石けんで手を洗いましょう  
アルコール消毒も効果的です
- 定期的に換気をしましょう
- 持病のある方、高齢の方は、できるだけ人混みの多い場所を避けるなど、より一層注意しましょう



熱や咳症状のある方は、無理をせず、仕事や外出を控えましょう。

新型コロナウイルス感染症は、**発熱やのどの痛み、咳が長引く**（1週間前後）ことが多く、**強いだるさ**（倦怠感）を訴える方が多いのが特徴です

風邪症状が軽度である場合には、自宅で安静にして療養に努め、症状が改善しない、息苦しさがある時は、帰国者・接触者相談センターにご相談ください。

### 帰国者・接触者相談センター（県内保健所）

▶受付時間／平日8:30～17:15

宮崎市保健所	☎0985(29)5286
中央保健所	☎0985(28)2111
日南保健所	☎0987(23)3141
都城保健所	☎0986(23)4504
小林保健所	☎0984(23)3118
高鍋保健所	☎0983(22)1330
日向保健所	☎0982(52)5101
延岡保健所	☎0982(33)5373
高千穂保健所	☎0982(72)2168

※夜間(17:15～8:30)、土日・祝日 ☎0985(44)2603

※聴覚に障害がある方や音声による相談に不安がある方  
FAX 0985(44)2616  
FAX相談票は県ホームページよりダウンロード

# 口蹄疫発生・終息から10年

## 「忘れない」

平成22年4月に児湯地域を中心に口蹄疫が発生し、29万7808頭の牛、豚などの命が失われました。あの苦難から今年で10年が経ち、発生により落ち込んでいた畜産業も「復興」の道を力強く歩んできました。

「忘れない そして前へ」を合い言葉に、畜産の新生へと歩みを進め、牛、豚の飼養頭数も発生前の90%を維持するまでに回復を遂げています。

県では、「宮崎県畜産新生推進プラン」に基づき畜産の新生を力強く推進しています。

これまでのさまざまな取り組みを振り返りながら、これからの未来につなげていきます。

### 家畜防疫対策の4本柱

#### 1 水際防疫

海外からのウイルスの持ち込みを防止するため、伝染病の発生状況に応じて空港や港湾に靴底消毒マットを設置しています。

#### 2 農場防疫

家畜防疫員による飼養衛生管理基準の遵守徹底のための農場巡回および指導を行っています。また、国内外の伝染病発生状況を共有しています。

#### 3 地域防疫

地域や市町村が中心となって研修会や消毒施設の整備を行っています。

#### 4 迅速な防疫措置

万が一発生した際に迅速に防疫措置ができるように防疫演習を実施しています。

防疫体制の強化を基本としながら、**3**つの視点で畜産の新生を推進しています！

### 01 生産力の向上

畜産経営の安定化を図るために、適正な飼養管理の普及・徹底や、生産性向上を図る機器の導入支援、生産コストの低減のためコントラクター（飼料生産作業受託組織）への委託による飼料生産体制の効率化などに取り組んでいます。



コントラクターによる飼料収穫

### 03 販売力の強化

販売戦略を策定し、関係団体が一体となった県産食肉の販路拡大を推進しています。また、県産食肉の消費拡大のため、首都圏におけるPRや最新鋭の食肉処理施設の整備による県産牛肉の輸出拡大を推進し、海外でも高い評価を得るようになりました。



東京都内で開催の食肉市場まつりの賑わい

### 02 人材力の強化

繁殖センターなどと連携して地域ぐるみで担い手を育成する取り組みを強力に推進しています。

また、外部講師を招いて高度な技術力の強化や、経営管理能力を備えた「畜産マスター」の育成などにも取り組んでいます。

この9年間で明るい話題もたくさんありました！

全国和牛能力共進会では、3大会連続で内閣総理大臣賞を受賞。またアカデミー賞授賞式のアフターパーティーで「宮崎牛」が3年連続で採用されました。



Photography by WPC Mr.Yahagi

# 口蹄疫発生・終息から10年

## 「そして前へ」

現在、国内ではCSF(豚熱)、アジア地域ではASF(アフリカ豚熱)や口蹄疫が流行しており、防疫の徹底に万全を期すとともに、本県は、口蹄疫の苦難を未来につないでいく、そして、被害に遭われた方々の思いを全国にもしっかりと発信していく使命を担っています。

今回、口蹄疫の苦難に直面し、先のない状況から、「復興」に向けてしっかりと歩みを進めて来られた方々に話を聞きました。



川南町 和牛肥育農家 岩崎勝也さん親子  
(左)冬吾さん (中央)哲太さん

### ― 思いをつなぐ

平成22年4月に口蹄疫が都農町、川南町と立て続けに発生する中、岩崎勝也さんの牧場の牛も口蹄疫に襲われてしまいました。

全頭処分を経験された当時を振り返り、自分の牛舎だけでなく、川南町から牛と豚がいなくなってしまう状況に頭の中は真っ白でしたが、家族のためにも経営を再開することに迷いは一切なかったとのこと。

発生当時、まだ幼かった2人の息子さん(哲太さん、冬吾さん)も勝也さんのその力強い背中を見て育ち、今では立派に牧場経営を手伝うまでに成長し、あの口蹄疫の苦難をしっかりと受け継いでいます。

平成31年4月に、宮崎県の生産者を代表して首相官邸で安倍晋三首相に宮崎牛を贈呈し、懇談でもしっかりと宮崎牛をPRした岩崎さん。

また、かつては第2回宮崎県肉畜共進会のグランドチャンピオンを獲得したことのあ



首相官邸で宮崎牛を贈呈

る岩崎さんは、全国和牛能力共進会への出品の夢も忘れてはいません。

現在の県内肥育農家は、全体のレベルが数段上がっていると、その「復興」を肌で感じているようでした。

「こんなにおいしい日本一の宮崎牛を県民の皆さんに提供できることが幸せであり、もっともっと食べてもらいたい。」と笑顔で語る岩崎さんの思いを県としても受けとめ、しっかりと未来につなげてまいります。



新富町 酪農家 松浦千博さん

### ― 前に進む

口蹄疫が県内で発生していた当時、松浦千博さんはアメリカのカリフォルニアに農業留学中で、そこで学んださまざまなことを実家で実践したいと考えていました。しかし、夢を持って新富町の実家に帰ってきましたが、実際の牛舎を見てのショックは大きく、牧場の全ての牛を殺処分しなければならぬという「どん底」の状況でした。

先のない不安の中、酪農を再開しましたが、牛の健康管理などの面で試行錯誤を重ねながら、これから先このまま続けられるかという悩みと苦労は絶えなかったそうです。

アメリカのインターンシップ先での経験や学びが、現在の松浦さんの酪農の目標となっているとのこと。また、志や思いを同じくする仲間との勉強会などを通して新たな刺激を受けています。

再開後、本当に経営が軌道に乗ったのは最近であるとのこと。現在、松浦さんの牛乳は、新富町内のカフェや宮崎市内のプリン専門店などで使用されており、明るい話題も増えています。

イベント活動の実行委員としても食育などに携わっている松浦さんは、家族で牛と触れあう農場体験を通して、命を感じてもらうことを『命の循環』という言葉で伝えていきたいと語っていました。多くの方々にそのことを伝えることが防疫にもつながっていくと松浦さんは考えています。

今年の10月31日から11月2日、第15回全日本ホルスタイン共進会九州・沖縄ブロック大会が都城市で開催されます。全国から注目が集まる中、松浦さんも出品を目指しているとのこと。宮崎の酪農を盛り上げる絶好の機会に、県としても前に進む宮崎の酪農の姿を力強くPRしていきます。



松浦牧場の皆さん



# PRESENTS

アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で5人の方にプレゼント!

●今回のプレゼント

もらってうれしい県産品の詰め合わせ



〈詰め合わせの例〉

●応募締切 5月1日(金) ※当日消印有効

応募方法

ハガキに次の事項をもれなく明記の上、〒880-8501(住所不要)宮崎県秘書広報課「県広報みやざき読者プレゼント」係までお送りください。当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

- ①郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号
- ②動画ポータルサイト「宮崎県庁 楠並木ちゃんねる」に関するご意見  
〔「宮崎県庁 楠並木ちゃんねる」では、県の出来事や県政テレビ番組、県民から募集した投稿動画などを配信しています。県ホームページからご覧いただけます。  
<https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kusuchan/index.html>〕
- ③県広報みやざき 4月号で最も良かったコーナーを1つ
- ④県広報みやざきに関するご意見



※このプレゼント応募に伴い知り得た個人情報は、プレゼント発送にのみ使用し、それ以外の目的には使用しません。

○県広報みやざきは、年6回(偶数月)の発行で、こんなところにも置いています。

**コンビニエンスストア** アイショップ、セブン-イレブン、ファミリーマート、ローソン ※一部店舗を除く

**その他の設置場所** 県民室、県政相談室(西臼杵支庁、各県総合庁舎)、各市町村役場、図書館、市民サービスコーナー、市民プラザ(宮崎市)、金融機関、イオン各店舗など

また、県ホームページ、「miyazaki-ebooks」、「マチイロ」でもご覧になれます。

※県広報みやざきでは、経費節減のためパンチ穴を開けておりません。皆さまにはお手数をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いします。

宮崎県の推計人口と世帯数 (R2.2.1現在)

■推計人口/1,070,124人  
 ■世帯数/470,687世帯

編集後記/県広報みやざきについて、読者アンケートで文字が小さく読みづらいなどのご意見をいただいていたので、この4月号は、より見やすく親しみのある紙面作りに取り組みました。これからも、読者の声に耳を傾け、皆さまから愛される広報紙を目指してまいりますので、たくさんのご意見をお寄せください。①



「県政けいじばん」も見てね!

県からのお知らせやイベント情報は、県政けいじばんをご覧ください。県ホームページでも確認できます。県政けいじばんは第2、4日曜日の新聞(宮日、朝日、読売)に掲載しています(毎日、夕刊デイリーはその前日の土曜日)。

県政けいじばん

検索

